施設等ノ徹底的立法ニ對シテモ、事毎ニ反對シ、社會立法、勞働立法ノ關係ノ分野ヲ抹殺セントシテヰル。更ニ、彼等ハ一切ノ自主的勞働者ノ組織ニ對シテハ先ヅ御用組合ト反動組合ヲ代置シテ妨害ヲ試ミ進ンデ、既存ノ組織ニ分裂攪亂ノ魔手ヲ伸バサントスル。日常ノ勞働條件ニ就イテ見ルニ、安賃銀ト二重賃銀制ト臨時雇傭制下ニ酷使シ、欺瞞的共濟施設ヲ以テ一切ノ自主的共濟運動ヲ壓殺シテヰル。マダ勞働組合ノ行動ニ對シテハ、日常ノ組織運動タル[illegible]爭議タルトニ關ハラズ、合法性ヲ認メズ、暴壓ニ狂奔シ、進ンデハ暴壓諸法令ノ増補改惡ヲ企テヽヰル。

四、非常時鬪爭ノ一般方針

カヽル非常時ノ究明ト共ニ、我國勞働組合ノ陣容ト從來ノ方針ヲ顧ミルトキ、我等ハ幾多ノ批判スベキモノヲ見出ス。ソノ根本的ナモノハ、主體的條件ノ未完成ニヨルガ、一面、方針ノ誤謬ニ求メラレル。

インフレーシヨン政策ヲトリ、資本主義ノ行詰リヲ打開セントスルガ、一向ニ効果ヲモタラサナイ。デフレーシヨン政策ハ産業合理化ヲ刺戟シテ、解雇ト實質賃銀値下ゲニヨツテ、マタインフレーシヨン政策ハ、物價吊上ゲト實質賃銀ノ切下ゲニヨツテ、大衆ノ生活ヲ壓迫ニ陥レ、共ニ、恐慌ヲ深刻化サセテヰル。カクテ、共ニ、恐慌ニヨル犠牲ヲ大衆ニ強要シナガラ更ニ各自ヲ擴大セシメテヰル。

三、資本家階級ノ勞働對策

「非常時」[illegible]ハ、國民大衆ニ階級協調ニ國家國民主義ヲ強要スル。ダガ、今日ノ資本家階級ハファツシヨ政治トインフレ政策ニヨル重壓ヲ強行スルト共ニ、勞働階級ニ對シテハ、懐柔的ニ、一的改修ノ態度ヲ以テ臨ミツヽアル。

嘗テノ勞働組合法反對運動ヲ契機トシテ結成サレタ全國産業團体聯合會ハ、ソノ後更ニ陣容ヲ統一シテ、對勞働者カルテルタル實質ヲ完備シ、失業保險法改正、健康保險法改正、日傭勞働者[illegible]